



コミュニティ・スクールだより

おおやぐち

令和8年度 第2号

令和8年 9月15日
板橋区立大谷口小学校

PTA会長 佐藤 香織
校長 宮澤 竜太郎

第2回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS) 委員会のご報告

第2回板橋区コミュニティ・スクール(iCS)委員会を9月10日(木)に実施しました。1学期を振り返り、学校の現状について、また、大きな学校行事が控える2学期に向けた取組などについて報告し、委員の皆様より御意見・御感想をいただきました。熟議では、現在の大谷口小の児童の様子から、「子供たちの自立」と、「保護者の安心」をテーマに、学校や地域でできることは何か、また、その関わりや手立て等について御意見をいただきました。

委員会 次第

9時30分～11時30分

場所：大谷口小学校 ランチルーム

- 内容：1 委員長挨拶
2 学校長より挨拶
3 全国学力学習状況調査の結果分析、1学期の振り返りと2学期の教育活動
4 熟議「子供たちの自立」と「保護者の安心」のために、学校や地域でできることは何か
5 事務連絡



校長より

1 全国学力学習状況調査の結果分析、1学期の振り返りと2学期の教育活動

- 6年生学力テスト結果(10月学校便りで詳細)実施教科で全国平均を上回る。質問紙から課題も見える。
- 5年生及び6年生の宿泊学習→予定の行程を実施(子供たちの主体的な行動に成長が感じられた。)
- 【成果】5分前行動、仲間との協力、助け合う姿を通して友情を大いに深める機会となった。
- くずの葉フェスティバル(7月10日)→今年も子供たちの意欲的な活動の様子がたくさん見られた。保護者アンケートも大変好評をいただいた。次年度も時期を考慮しながら実施できればと考える。
- 夏季休業中の学校における浸水被害。地域や施設利用団体様による排水作業ありがとうございました。
- 大谷口サポーターズの学校支援→現場が大変助かっている。引き続きご支援をよろしくお願いします。
- 大谷口小音楽会10月2日、3日(5年ぶりの開催)

熟議「学校の近況と子供たちの様子から見える課題と、学校・地域ができること」

委員の皆様より

委員の皆様から、本校の子供たちの課題やトラブル、登校しぶり等の見守りについて、また、悩む保護者の方に向けた地域・学校の温かい支え方について、御自身の子育ての経験等を踏まえて感じることに御意見をいただきました。

- 自己主張はするが、失敗について認められない子供が多いように感じる。大人が解きほぐさないと解決できない課題を感じる。
- 学校にいるときに様々な経験や体験をさせることが必要ではないか。地域の教育人材の発掘、出前授業等。
- (学力調査の結果より本校児童が夢をもつ子が少ない実態から)学校も自己調整型学習を進めている。夢や希望が持てる子が少ないのは残念だが、将来を考える上で選択肢があって迷うことも大切であると思う。
- 不登校傾向の子には、学校での居場所や、やるべきことを保証してあげること。できたらほめてあげること。
- 保護者会の活用が大事。先生の話聞くことのみならず、親同士の悩み相談や情報共有の場になっている。
- 学校公開の時に、保護者が自由に過ごせるフリースペースを作り、交流の場を設けてみる。
- 子供たちが大事にされる過ぎているのではないか。主張すれば通り、子供の言うことを聞いてしまうことは、子供にとってもよくない。子供を学校に預けることは、子離れのプロセスの一環でもある。

・・・すべて掲載できませんが、様々な御意見をいただきました。

次回の予告

第3回コミュニティ・スクール委員会は、給食試食会を兼ねて、
令和8年10月30日(金)11:00より、ランチルームにて行います。

(文責 校長 宮澤 竜太郎)